将来を見据えた事業

一般会計補正予算の主な内容

マイナンバーカード交付事務費補助金　２５８万円
郵便局でカードの更新などができるようになります。P14参照

冬の生活応援事業　３９０万円
灯油等購入費助成が追加されました。

調理場設備整備事業　５７５４万円
空調設備等の整備、運用面の改善等を行います。

小学校施設改修事業　２９５万円
照明器具のＬＥＤ化に向けた調査を行います。

中学校施設改修事業　２９５万円
照明器具のＬＥＤ化に向けた実施設計を行います。

保健体育施設費（委託料）　２００万円
スポーツ施設などの調査を行います。

ふるさと森林公園整備事業　５００万円
再整備に向けた浴室老朽度調査を行います。P17参照

林業豪雨災害復旧事業費　１００万円
道路河川豪雨災害復旧事業費　３０００万円
７月豪雨災害で壊れた箇所の復旧工事です。

など、３億２０７０万円を補正し、一般会計総額は１００億７９９０万円となりました。

◎財源は、国・県支出金、寄付金、繰越金、諸収入、町債などで対応。

※万円未満は端数調整

７月30日に発生した豪雨災害への対応をはじめ、物価高騰への支援、近年の猛暑に備えた学校給食調理場への空調設置、ふるさと森林公園再整備に向けた老朽度調査、公共施設の老朽化対策など、緊急性の高い事業に必要な予算を可決しました。

補正予算の主な質疑

衛生基準に沿う改善

横山委員　調理場の運用面の改善等はどういう団体に委託するのか。

教育次長　国の学校給食衛生管理基準に基づき、施設環境の維持管理手法の具体化等、運用の見直しや改善を進めるため、全国の自治体を支援している専門家へ委託する。

横山委員　調理を担うアルカディア財団や栄養教諭と連携し、現場の意見を踏まえて検討を進めるのか。

教育次長　調理を行う財団職員と、献立作成や学校の給食指導に当たる栄養教諭との連携は不可欠である。引き続き現場の声を聞きながら様々な課題に対応していく。



衛生管理を万全に

学校照明のＬＥＤ化

笹原委員　小中学校ＬＥＤ化の調査と設計はすべての照明器具が対象か。

教育次長　小学校全校の調査と、中学校はＬＥＤ化している体育館を除いた施設の実施設計を行う。

佐々木委員　蛍光管だけの交換はできないのか。

教育次長　事故防止の観点から器具ごと交換する。